



国際社会及び 日本の主な動き

国際社会及び日本の主な動き

2013年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
総理大臣	2012年12月26日～ 安倍晋三											
外務大臣	2012年12月26日～ 岸田文雄											

2013年1月1日～12月31日 (日付は現地時間)

日本関係		国際関係	
1月			
		1日	ユーロを採用する17か国に対し「新財政協定」が発効 米国議会の上下両院で「財政の崖」回避のための法案を可決。2日、オバマ米国大統領が署名し成立
9日	岸田外務大臣がフィリピン、シンガポール、ブルネイ及びオーストラリアを訪問(～14日)	12日	フランス軍が、マリ暫定政府と対立するイスラム過激派の組織に対し、空爆を実施(11日～)。トラオレ・マリ暫定大統領が非常事態を宣言。空爆と戦闘により100人以上が死亡
11日	「日本経済再生に向けた緊急経済対策」閣議決定(アベノミクス「機動的な財政政策」)	13日	エジプトの最高裁判所が2012年に終身刑判決を受けたムバラク前大統領について裁判のやり直しを命令
19日	イスラエルとシリア国境のゴラン高原に展開する国連兵力引き離し監視隊(UNDOF)に参加していた自衛隊部隊の撤収が完了	16日	アルジェリア南東部イナメナスのプラント建設現場で、日本人駐在員ら外国人多数をイスラム武装勢力が拘束。多数の外国人が犠牲となり、日本人10人が死亡
16日	安倍総理大臣がベトナム、タイ及びインドネシアを訪問(～19日)	22日	国連安保理が北朝鮮による2012年12月の長距離弾道ミサイル発射を非難し制裁を強化する決議案第2087号を全会一致で採択 イスラエルで総選挙(議席定数120)実施。ネタニヤフ首相の右派リクードとリーベルマン前外相の「わが家イスラエル」の与党統一会派が31議席を獲得、勝利
18日	岸田外務大臣が米国を訪問	24日	ルセフ・ブラジル大統領とファン＝ロンパイ欧州理事会議長が会談(ブラジル・ブラジリア)し、南部共同市場とEUのFTA締結に向けた協議の加速で一致
22日	政府と日本銀行の共同声明において、日本銀行が消費者物価の対前年比上昇率2%を「物価安定目標」とすることを初めて明確化。(アベノミクス「大胆な金融政策」)	26日	ラテンアメリカ・カリブ諸国共同体(CELAC)とEU27か国による初の首脳会合が開催され、貿易・投資の促進に向けて協力するとの宣言を採択(チリ・サンティアゴ) 第6回太平洋同盟首脳会合開催(チリ)。日本はアジア初のオブザーバー国となる
23日	世界経済フォーラム年次総会(ダボス会議)開催(スイス・ダボス、～27日)。安倍総理大臣がテレビ会議方式で参加	30日	第1回シリア人道支援会合開催(クウェート)
25日	山口公明党代表と習近平総書記が会談(北京)	31日	アフガニスタンの反政府武装勢力タリバンとカルザイ政権内で影響力を持つ旧北部同盟出身の代表団が和解に向け非公式に会合し、直接対話を開始
30日	「第24回国連軍縮会議in静岡」開催(～1日)		

日本関係		国際関係	
2月			
5日	中国海軍の艦船が1月30日に海上自衛隊の護衛艦に火器管制レーダーを照射したことを政府が発表。中国に嚴重抗議 「V4+日本」東方パートナーシップ・セミナー開催(東京)。城内外務大臣政務官が出席し基調講演を行う	3日	シハヌーク前国王御葬儀。秋篠宮殿下御参列(カンボジア、～5日)
13日	「パレスチナ開発のための東アジア協力促進会合(CEAPAD)」開催(～14日、東京)。岸田外務大臣、鈴木外務副大臣が出席	11日	ローマ法王ベネディクト16世が28日に退位することを表明
15日	麻生副総理兼財務大臣がG20財務大臣・中央銀行総裁会議に出席(ロシア・モスクワ)(～16日)	12日	北朝鮮が3度目の核実験を実施し、国連安保理が非公式協議において、過去の関連安保理決議の「重大な違反」に当たるとの声明を発表 グアムのタモンで男が多数の観光客を無差別に刃物で襲う事件が発生。日本人3人が死亡
19日	メコン地域における官民協力・連携促進フォーラム第3回日メコン全体会合開催(東京)。鈴木外務副大臣出席	25日	韓国大統領に朴槿恵氏が就任
20日	森元総理大臣(総理特使)がロシアを訪問(～23日)	26日	エジプト南部ルクソールで外国人観光客の乗る気球が炎上し墜落。日本人4人を含む19人が死亡
21日	安倍総理大臣が米国を訪問(～25日)		
25日	麻生副総理兼財務大臣が韓国を訪問し、朴槿恵韓国大統領に表敬		
3月			
6日	皇太子殿下が国連「水と災害に関する特別会合」に御臨席(米国・ニューヨーク)	5日	中国の第12期全国人民代表大会第1回会議が開幕(～17日) チャベス・ベネズエラ大統領が死去 北朝鮮が朝鮮戦争休戦協定の全面白紙化を表明
15日	安倍総理大臣がTPP協定交渉への参加を正式表明	7日	国連安保理が、北朝鮮による3度目の核実験を非難し、大幅に制裁を強化する決議第2094号を全会一致で採択。
16日	岸田外務大臣がTICAD V閣僚級準備会合出席(エチオピア・アディスアベバ、～17日)	9日	ケニアの大統領選(4日実施)の最終結果を選挙管理委員会が発表
		13日	アルゼンチン出身のベルゴリオ枢機卿が第266代ローマ法王に選出される
		14日	中国・全国人民代表大会が習近平を国家主席に選出
		15日	ユーロ圏財務相会合において財政危機に陥ったキプロスに対し最大100億ユーロ(約1兆2,000億円)の支援実施に合意
		18日	イスラエル国会が右派リクードのネタニヤフ党首を首相とする右派と中道の新たな連立内閣を賛成多数で承認し、新政権発足 イエメンにおいて政治移行プロセスの一環として国民対話が始まる
		19日	国連人権理事会が北朝鮮における人権に関する国連調査委員会(COI)を設置する決議案を無投票で採択

国際社会及び日本の主な動き

日本関係	
25日	日EU首脳電話会談において、日EU・EPA交渉開始を決定 第9回日本・シンガポール・シンポジウム開催（～26日、東京） 日本とEUがEPA及び戦略的パートナーシップ協定（SPA）交渉開始を決定
30日	安倍総理大臣がモンゴルを訪問（～31日）

国際関係	
22日	ミーカーティアー・レバノン首相が辞任を表明
22日	習近平中国国家主席が初の外遊先としてロシアを訪問（～24日）
24日	中央アフリカの反政府勢力「セレカ」が首都バンギに侵攻。セレカの指導者ジョトディア副首相が憲法停止を宣言し、自ら「大統領」就任を宣言
27日	中国やロシア、インドなど新興5か国（BRICS）首脳会議が開発途上国のインフラ整備支援を目的とする「BRICS開発銀行」設立で基本合意（南アフリカ・ダーバン）
28日	国連安保理が、国連コンゴ（民）安定化ミッション（MONUSCO）において、武装集団の無害化の任務を負う「介入旅団」の編制等を内容とする決議案を全会一致で採択
31日	中国国家衛生計画産出委員会が上海市の男性2人と安徽省の女性が鳥インフルエンザウイルスA（H7N9）に感染し男性2人が死亡したと発表。同型の人への感染が確認されたのは初めて

4月

4日	日本銀行「量的・質的金融緩和」導入（アベノミクス「大胆な金融政策」）
5日	日米両政府が沖縄における在日米軍施設・区域に関する統合計画を発表
9日	岸田外務大臣が軍縮・不拡散イニシアティブ（NPTI）第6回外相会合に出席（オランダ・ハーグ）
10日	岸田外務大臣がG8外相会合に出席（ロンドン、～11日） 日台双方の窓口機関が日台民間漁業取決めに署名
18日	麻生副総理兼財務大臣がG20財務大臣中央銀行総裁会議に出席（米国・ワシントンDC、～19日）
23日	ハーグ条約締結の国会における承認（衆議院）
23日	尖閣諸島周辺の領海に中国の海洋監視船8隻が相次いで侵入。2012年9月以降、最多
28日	皇太子同妃両殿下がオランダを御訪問（～5月3日） 安倍総理大臣がロシア（～30日）及び中東（サウジアラビア、アラブ首長国連邦及びトルコ）（～5月4日）を訪問 サンフランシスコ平和条約発効から61年を迎え政府が主権回復記念式典を開催

2日	北朝鮮が、寧辺の全ての核施設とともに、六者会合の合意に基づき稼働を中止・無能力化していた黒鉛減速炉を再整備し再稼働させると表明 イスラエル軍が2012年11月の停戦合意後、初めてパレスチナ自治区ガザを空爆 国連総会本会議で通常兵器が市民虐殺や人権抑圧に使われないよう国際取引を規制する武器貿易条約（ATT）案を採択
3日	北朝鮮が、南北経済協力事業の行われている開城工業団地への通行を一方向的に遮断
8日	サッチャー英国元首相が死去
14日	ベネズエラでチャベス前大統領の死去に伴う大統領選が実施され後継者のマドゥーロ大統領代行が僅差で当選
15日	米国マサチューセッツ州で開かれたボストン・マラソンのゴール付近で連続爆破事件が発生。3人死亡、170人以上負傷
20日	中国四川省でマグニチュード7.0の地震発生。死者196人、負傷者1万3,484人、被災者200万人（27日時点）
30日	鳥インフルエンザA（H7N9）の人への感染が初確認されてから1か月経過。感染地域は中国の8省に拡大。24人死亡、感染者は127人

日本関係		国際関係	
	岸田外務大臣が中南米（メキシコ、パナマ及びベルー）（～5月2日）及び米国・ロサンゼルス（～5月4日）を訪問		ナスラッター・ヒズボラ書記長がヒズボラのシリアへの軍事的関与を認めると発言
5月			
1日	麻生副総理兼財務大臣がスリランカ（～2日）及びインド（ADB総会出席）（～4日）訪問		
6日	日中韓3か国環境相会合（5日～、北九州市）開催		
9日	ハーグ条約実施法の国会における成立（衆議院）		
11日	麻生副総理兼財務大臣と黒田日銀総裁が先進7か国財務相・中央銀行総裁会議に出席（10日～、英国）		
17日	第5回「GUAM+日本」会合開催（東京）		
18日	第2回東アジア低炭素成長パートナーシップ対話開催（東京）。岸田外務大臣（共同議長）が出席		
22日	ハーグ条約締結の国会における承認（参議院）		
24日	安倍総理大臣がミャンマーを訪問（～26日）		
		7日	ケリー米国国務長官とラヴロフ・ロシア外相がシリアに関する国際会議（「ジュネーブ2」会議）の開催を目指すことで合意（ロシア・モスクワ）
		29日	経済協力開発機構（OECD）閣僚理事会開催（～30日、パリ）
6月			
1日	第5回アフリカ開発会議（TICAD V）開催（～3日、横浜市）	1日	トルコ・イスタンブール中心部にあるゲジ公園再開発計画に反対するデモが反エルドアン政権デモとして各地に拡大、治安部隊との衝突で1,000人以上が負傷、1,000人近くが負傷
5日	厚生労働省の人口動態調査によると合計特殊出生率が2012年は1.41になったと発表。16年ぶりに1.40を上回る	4日	国連人権理事会が任命したシリア人権状況に関する独立国際調査委員会が化学兵器について「使用されたと信じるに足る合理的な理由がある」と表明
6日	オランダ・フランス大統領が訪日（～8日）	6日	ブラジル・サンパウロ市が公共交通機関の運賃を値上げしたことをきっかけに物価高騰やW杯への高額公費支出に反発する市民デモが発生。20日までに80都市以上に拡大、参加者は100万人超
7日	高円宮妃殿下がスウェーデンを御訪問（～11日）	7日	オバマ米国大統領と習近平中国国家主席が会談（～8日、米国カリフォルニア州・サニーランド）
8日	岸田外務大臣がニュージーランドを訪問（～9日）		パキスタンでシャリフ政権が発足
10日	皇太子殿下がスペインを御訪問（～16日）		
12日	ハーグ条約実施法の国会における成立（参議院）		
14日	「日本再興戦略」を閣議決定（アベノミクス「民間投資を喚起する成長戦略」）		
15日	安倍総理大臣がポーランド、アイルランド、英国を訪問（～20日）		
17日	安倍総理大臣がG8ロック・アーン・サミットに出席（～18日、英国）	17日	G8ロック・アーン・サミットに出席のため英国訪問中の米EU両首脳が、FTA（環太平洋貿易投資パートナーシップ（TTIP））交渉開始を発表

国際社会及び日本の主な動き

日本関係		国際関係	
19日	秋篠宮同妃両殿下がクロアチア、スロバキア及びスロベニアを御訪問（～30日）	19日	国連難民高等弁務官事務所（UNHCR）が2012年の1年間に新たに武力紛争などで国外に逃れた難民と国内で住居を追われた避難民の総数が推定760万人に上ったとの報告書を発表。1999年以来最多を記録
22日	第37回世界遺産委員会（カンボジア）において、「富士山—信仰の対象と芸術の源泉」の世界遺産一覧表への記載決定	22日	中国人民銀行がイングランド銀行との間で人民元とポンドのスワップ協定を締結
26日	国際司法裁判所（ICJ）「南極における捕鯨」訴訟口頭弁論（ハーグ、～7月16日）	24日	ハマド＝カタール首長が国民向けの演説で自らが退位し4男のタミーム皇太子に首長位を継承したと発表
27日	日NATOシンポジウム「新規安全保障課題におけるNATOの役割と日NATO協力」開催（東京）	26日	モンゴル大統領選でエルベグドルジ大統領が再選
29日	地球温暖化防止とサンゴ礁保全に関する国際会議開催（沖縄、～30日）	27日	ラッド前オーストラリア首相が約3年ぶりに首相に返り咲き
29日	岸田外務大臣がASEAN関連外相会議、ASEAN地域フォーラム（ARF）閣僚会合に出席（～7月2日、ブルネイ）	28日	国際エネルギー機関（IEA）が再生可能エネルギーによる世界の発電量が2016年に天然ガス火力発電を超え石炭火力発電に次ぐ第2の電源になると予測
		30日	ムルスィー・エジプト大統領就任1周年を機に、全国各地で大規模反政府デモが発生

7月

1日	国際原子力機関（IAEA）が初めて開催した核セキュリティに関する閣僚級会議に、鈴木外務副大臣が出席（～5日、ウィーン）	1日	国連が世界の貧困解消を目指すミレニアム開発目標（MDGs）の到達状況報告書で、2015年までの飢餓人口の割合半減や結核克服は達成できるとの見通しを発表 クロアチアがEUに加盟
19日	麻生副総理兼財務大臣がG20財務大臣・中央銀行総裁会議に出席（～20日、モスクワ）	3日	エジプトでエルシーシ国防相が憲法の停止を宣言。大統領選挙の実施等を含む「ロードマップ」を提示。ムルスィー大統領は拘束
21日	参議院選挙実施。自民党が65議席を獲得し、衆参のねじれ解消	4日	エジプトでマンスール最高憲法裁判所長官が暫定大統領に就任。暫定政権が発足
23日	日本が正式にTPP協定交渉参加（～25日、マレーシア・コタキナバル） 岸田外務大臣が中東（イスラエル、パレスチナ及びヨルダン）を訪問（～27日）。「平和と繁栄の回廊」構想第4回4者協議閣僚級会合開催（25日）	9日	EU財務相会合（ECOFIN）が、2014年1月1日からのラトビアによるユーロ導入を承認
25日	安倍総理大臣がマレーシア、シンガポール及びフィリピンを訪問（～27日）	21日	約20年にわたり在位したベルギー国王アルベール2世が退位、長男のフィリップ皇太子が第7代国王に即位
		22日	中国甘粛省定西市でマグニチュード6.6の地震発生。95人死亡、1,000人以上負傷
		27日	ブータンでトブゲー政権が発足
		29日	イスラエルとパレスチナの交渉代表団が米国の仲介により和平交渉を再開

日本関係		国際関係	
8月			
4日	宇宙航空研究開発機構 (JAXA) が国際宇宙ステーション補給機「こうのとり」4号機 (HTV4) を打ち上げ	1日	イタリア最高裁判所がベルルスコーニ元首相の脱税事件で元首相の上告を棄却。禁錮4年とした下級審判決を支持し実刑が確定 ロシアがスノーデン元CIA職員の一時的亡命を認める
12日	日中平和友好条約締結から35周年	3日	イランで穏健保守派のローハニ師が大統領に就任
19日	承子女王殿下がスリランカを御旅行 (～23日)	21日	シリアのダマスカス郊外における空爆及び化学兵器の使用により、多数 (200～1,300人) が死亡したとの報道
21日	政府観光局が7月に日本を訪れた外国人旅行者が100万3,000人で月間で初めて100万人を超えたとの推計を発表		
22日	岸田外務大臣がハンガリー及びウクライナを訪問 (～27日)		
24日	安倍総理大臣が中東・アフリカ諸国 (バーレーン、クウェート、ジブチ及びカタール) を訪問 (～29日)		
28日	住民基本台帳に基づく2013年3月末時点の日本人の人口が前年同期比26万6,004人減の1億2,639万3,679人と4年連続で減少。過去最大の減少数。		
9月			
1日	岸田外務大臣がブラジルを訪問するとともにアルゼンチンで開催された国際オリンピック (IOC) 総会に出席 (～9日)	3日	国連難民高等弁務官事務所 (UNHCR) がシリアから国外に逃れた難民が200万人に達したと発表
5日	安倍総理大臣がG20サントペテルブルク・サミット (～6日、ロシア) 及び国際オリンピック (IOC) 総会 (～7日) 出席	4日	マリ大統領にケイタ氏が就任
7日	IOC総会が2020年オリンピック・パラリンピック競技大会開催都市に東京を選出 (アルゼンチン・ブエノスアイレス) 万国国際法学会 (IDI) 総会日本大会開催 (～15日)	9日	トルコの観光地カッパドキアで日本人2人がナイフで刺される事件発生
12日	日・ASEANサイバーセキュリティ協力に関する閣僚政策会議開催 (～13日、東京)	14日	米露外相会談でシリアの化学兵器を国際管理下に置き、2014年前半までに廃棄を完了することで合意 (スイス・ジュネーブ)
14日	宇宙航空研究開発機構 (JAXA) が新型ロケット「イプシロン」1号機の打上げに成功	16日	国連がシリアの首都ダマスカス郊外で8月21日に化学兵器が使用されたと結論づける調査報告書を公表 韓国と北朝鮮が開城工業団地の稼働を約5か月ぶりに再開
21日	日韓交流おまつり (～22日、東京) に高円宮妃殿下、安倍昭恵総理大臣夫人及び岸田外務大臣が出席	19日	シリア政府が化学兵器禁止機関 (OPCW) 技術事務局に化学兵器計画を開示
23日	安倍総理大臣がカナダを訪問するとともに国連総会 (ニューヨーク) 出席 (～27日)	21日	ケニアの首都ナイロビで武装集団がショッピングモールを襲撃し、市民61人と治安要員6人が死亡
23日	岸田外務大臣が国連総会 (ニューヨーク) 出席 (～28日)	22日	中国で収賄と横領、職権乱用の罪に問われた薄熙来被告に無期懲役の一審判決 (10月25日の二審 (終審) 判決は一審判決支持で無期懲役が確定)

国際社会及び日本の主な動き

日本関係		国際関係	
26日	<p>安倍総理大臣が国連総会で演説。安倍総理大臣及び岸田外務大臣が核軍縮に関する国連総会ハイレベル会合で演説</p> <p>安倍総理大臣が国連総会で演説。日・アフリカ地域経済共同体 (RECs) 議長国首脳会合に安倍総理大臣が出席 (ニューヨーク)</p> <p>岸田外務大臣がシリア・フレンズ閣僚会合に出席 (ニューヨーク)</p>		<p>ドイツ連邦議会 (下院) 選挙の投開票が行われ、メルケル首相のキリスト教民主・社会同盟が大勝利、首相3期目が決定</p>
30日	日英安全保障協力会議 (東京) に安倍総理大臣及びヨーク公アンドリュー王子が出席		<p>28日 シリアの化学兵器廃棄に関する化学兵器禁止機関 (OPCW) 決定が採択 (オランダ・ハーグ)。これを補強する、シリアの化学兵器廃棄に関する国連安保理決議第2118号が採択</p> <p>28日 北京市の天安門付近で車1台が歩道を突破し、天安門・金水橋の保護柵に衝突して炎上。死者5人、負傷者40人。中国政府は、「暴力テロ襲撃事件」と断定</p>
10月			
1日	「消費税率及び地方消費税率の引上げとそれに伴う対応について」閣議決定 (2014年4月1日から消費税率を8%とすることを確認)	1日	米国議会で2014年度の予算関連法不成立に伴い、政府機関が一部閉鎖
3日	第16回日本・スペイン・シンポジウム開催 (東京)。岸田外務大臣及びラホイ・スペイン首相が出席		
	日米安全保障協議委員会 (2+2) を開催 (東京)。同日、グアム協定改正議定書に署名		
4日	岸田外務大臣がAPEC閣僚会議出席 (~5日、インドネシア)	4日	ヴォー・グエン・ザップ将軍 (元ベトナム副首相兼国防相) が死去
7日	安倍総理大臣がAPEC首脳会議 (7、8日、バリ)、TPP首脳会合 (8日、バリ) 及びASEAN関連首脳会議出席 (~10日、ブルネイ)		
8日	日米地位協定に基づく刑事裁判等の処分結果の相互通報制度に関する新たな枠組みに合意		
9日	水銀に関する水俣条約外交会議 (水俣市、熊本、~11日) 開催。岸田外務大臣が出席し、「水銀に関する水俣条約」に署名	14日	シリアについてCWCが発効
10日	麻生副総理兼財務大臣がG20財務大臣・中央銀行総裁会議に出席 (米国・ワシントンDC、~11日)	16日	OPCWと国連がシリア化学兵器廃棄にかかる共同ミッション立ち上げを発表
		17日	オバマ米国大統領が予算関連法に署名し、同法成立。閉鎖されていた一部政府機関が再開
		19日	第23回イベロアメリカ・サミット (パナマ) において、日本のオブザーバー参加承認
26日	太平洋・島サミット第2回中間閣僚会合 (東京)		
28日	安倍総理大臣がトルコ訪問 (~30日)		
11月			
2日	日本とロシアが初の外務・防衛閣僚協議 (2+2) 開催 (東京)		
		4日	2012年12月のデモ隊衝突で殺人を扇動した罪に問われたエジプト前大統領ムルシー被告ら初公判
		5日	コンゴ民主共和国政府が東部の北キブ州で反政府武装勢力3月23日運動 (M23) の最後の拠点を制圧したと発表

日本関係

- 8日 岸田外務大臣のイラン訪問及びASEM第11回外相会合出席（～13日、デリー）
- 11日 フィリピンの台風被害に対し、国際緊急援助隊医療チームの派遣を決定（以降、国際緊急援助隊として、自衛隊部隊（最大1,200人規模）、専門家チームを順次派遣）
- 15日 官民合わせ2013年からの3年間に計1兆6000億円の開発途上国支援を含む攻めの地球温暖化外交戦略「Actions for Cool Earth（ACE）」を発表。政府が温室効果ガスの排出量を2020年度までに2005年度比3.8%削減する新目標を決定
キャロライン・ケネディ氏が駐日米国大使として着任
- 16日 安倍総理大臣がカンボジア及びラオスを訪問（～17日）
- 19日 第21回日EU定期首脳協議（東京）開催。安倍総理大臣、岸田外務大臣ほかが出席
- 23日 中国政府が「東シナ海防空識別圏」設定を発表。東シナ海における現状を一方的に変更するものであるなど、日本政府として強い懸念を表明する外務大臣談話を翌24日に発出
新日中友好21世紀委員会少人数会合（～24日、中国・杭州）
- 30日 天皇后両陛下がインドを御訪問（～12月6日）

国際関係

- 6日 中国山西省太原市で省党委員会の建物前で連続爆発発生。1人死亡、8人が重軽傷
- 7日 欧州中央銀行（ECB）がユーロ圏の金融政策を決める理事会を開き、主要政策金利を0.50%から0.25%に引き下げることを決定。ユーロ導入以来の最低水準を更新
- 8日 猛烈な台風30号がフィリピン中部に上陸し、甚大な被害をもたらす
- 9日 中国共産党が中長期的な政策の方向性を討議する第18期中央委員会第3回全体会議（三中全会）が開催（～12日）
- 11日 気候変動枠組み条約の第19回締約国会議（COP19）が開幕（～23日、ワルシャワ）
- 12日 国連人権理事会理事国（47か国）のうち14の理事国を改選する選挙が実施（英国、フランス、中国、ロシア等が選出）
ロシア・カザンで航空機が墜落し、50人が死亡
- 21日 ウクライナがEU加盟の第一歩とされるEUとの連合協定締結作業の中止を発表。ウクライナ政府がEUとの連合協定への署名を延期したことに反発し、首都キエフにて大規模反対集会が発生
- 24日 タイ・バンコクで反政府集会が開かれ約11万人参加
- 25日 国連が2014年1月22日にシリアに関する国際会議（「ジュネーブ2」会議）を開催すると発表
- 27日 イタリア上院本会議が2013年8月に脱税の実刑判決が確定したベルルスコーニ元首相の上院議員の資格はく奪を議決。失職及び6年間公職に就くことを禁止

12月

- 3日 バイデン米国副大統領が訪日。安倍総理大臣を表彰
- 4日 外交・安全保障政策の司令塔となる国家安全保障会議（日本版NSC）が設置

- 1日 天野IAEA事務局長2期目就任
- 2日 国際連合工業開発機関（UNIDO）第15会期総会でリマ宣言を採択（ペルー・リマ）
- 6日 マンデラ南アフリカ共和国元大統領逝去

国際社会及び日本の主な動き

日本関係

- 4日 第8回無形文化遺産保護条約政府間委員会（アゼルバイジャン）において、「和食；日本人の伝統的な食文化—正月を例として—」の無形文化遺産代表一覧表への記載決定
- 6日 特定秘密保護法が参院本会議で採決され、賛成多数により成立
- 外務省内に日本企業支援本部（本部長：岸田外務大臣）を設置
- 10日 皇太子殿下が福田政府特派大使（元総理）と共に故マンデラ南アフリカ共和国元大統領追悼式に御参列（南アフリカ・ヨハネスブルグ）
- 11日 岸田外務大臣が故マンデラ南アフリカ共和国元大統領追悼式に出席（東京）
- 12日 日・ASEAN特別首脳会議（東京、～15日）
- 15日 岸田外務大臣及び茂木経済産業大臣が日本・アラブ経済フォーラムに出席（～17日）
- 17日 岸田外務大臣が第2回日マダガスカル諸国閣僚懇談会に出席
- 日本で初めてとなる国家安全保障戦略（NSS）を策定。同戦略を踏まえ、防衛計画の大綱及び中期防衛力整備計画を策定
- 23日 UNMISSに派遣されている韓国部隊や避難民の生命・身体を保護するために、韓国政府及び国連の要請に基づき、弾薬9万発を国連に譲渡
- 25日 日米両政府が、日米地位協定を環境面で補足する政府間協定の作成に向けた日米協議の立ち上げに同意
- 27日 仲井眞沖縄県知事が普天間飛行場代替施設建設事業に係る公有水面埋立を承認

国際関係

- 化学兵器禁止機関（OPCW）・国連共同ミッションがシリア政府が申告した化学兵器のうち未充填の弾頭や爆弾がすべて破壊されたことを確認したと発表
- 7日 第9回WTO閣僚会議（インドネシア・バリ）にてドーハ・ラウンド交渉の部分合意として「バリ合意」が妥結
- 8日 韓国国防省が防空識別圏の拡大を発表（同月15日発効）
- 9日 タイ・バンコクで反政府集会が開かれ、約25万人参加。同日、タイ下院が解散
- 12日 北朝鮮にて、張成澤国防副委員長に死刑判決が下され、即時執行
- 14日 コンゴ民主共和国政府と同国東部の反政府勢力「3月23日運動（M23）」がそれぞれ停戦に関する宣言を发出
- 15日 南スーダン首都のジュバにおいて、大統領警備隊内での銃撃戦が発生。以後、地方部3州における政府側と反政府勢力の衝突に発展
- 17日 メルケル・ドイツ首相が連邦議会（下院）で首相に選出され、第3次政権発足
- 21日 国連総会本会議において第3回国連防災世界会議の仙台市開催を決定する決議が採択
- 24日 南スーダン情勢の悪化を受け、国連安保理がUNMISSの部隊を一時的に増強する決議案を全会一致で採択
- 29～30日 ロシア南部ヴォルゴグラード市で2日連続で爆破テロが発生